

東京湾海況情報 18-12

東京湾水質調査結果（平成19年3月分）

平成19年3月13日
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

東京湾水質調査結果(平成19年3月分)

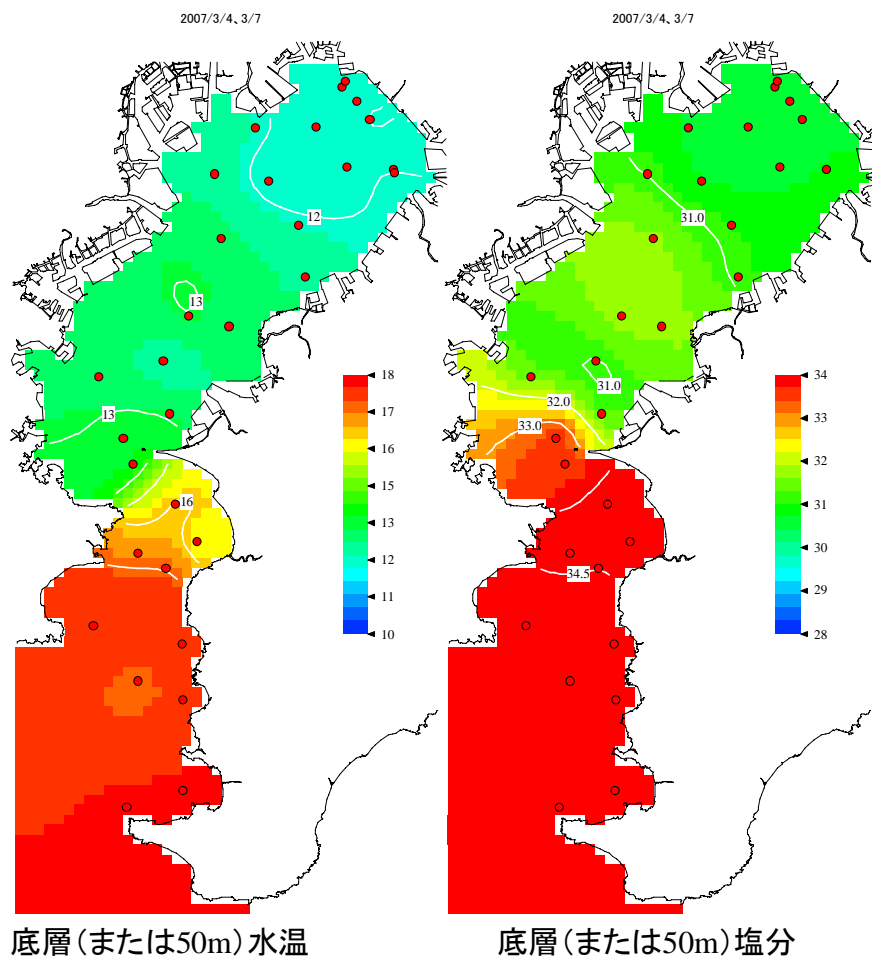
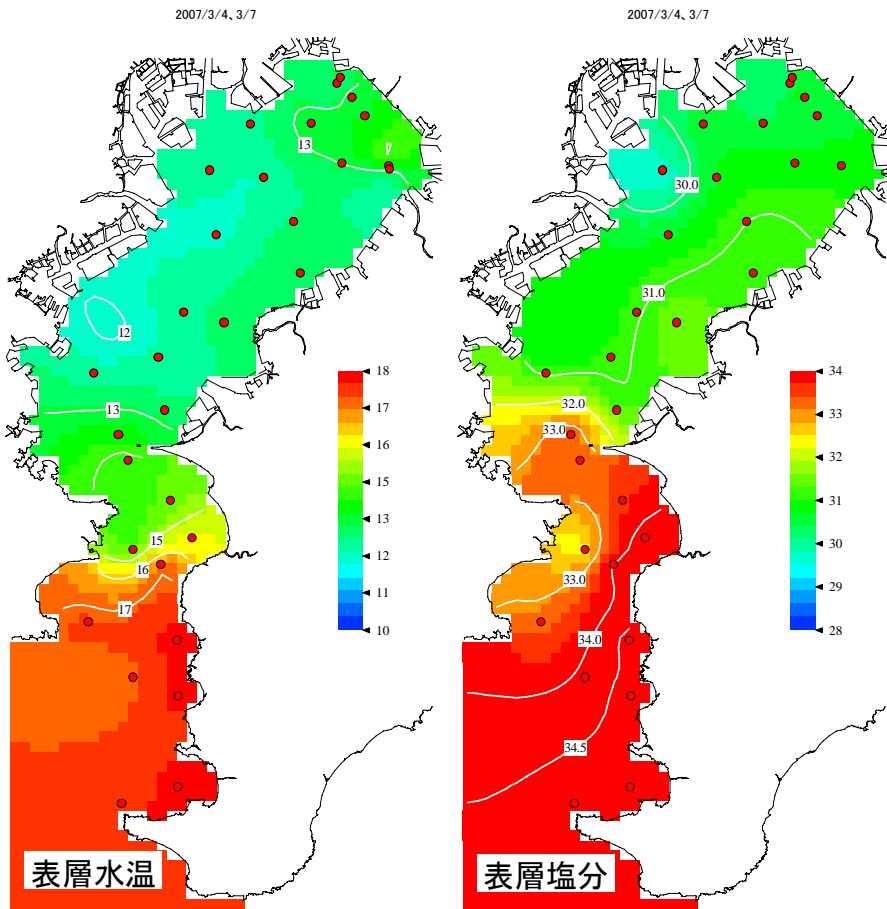


図1 東京湾の水温・塩分分布

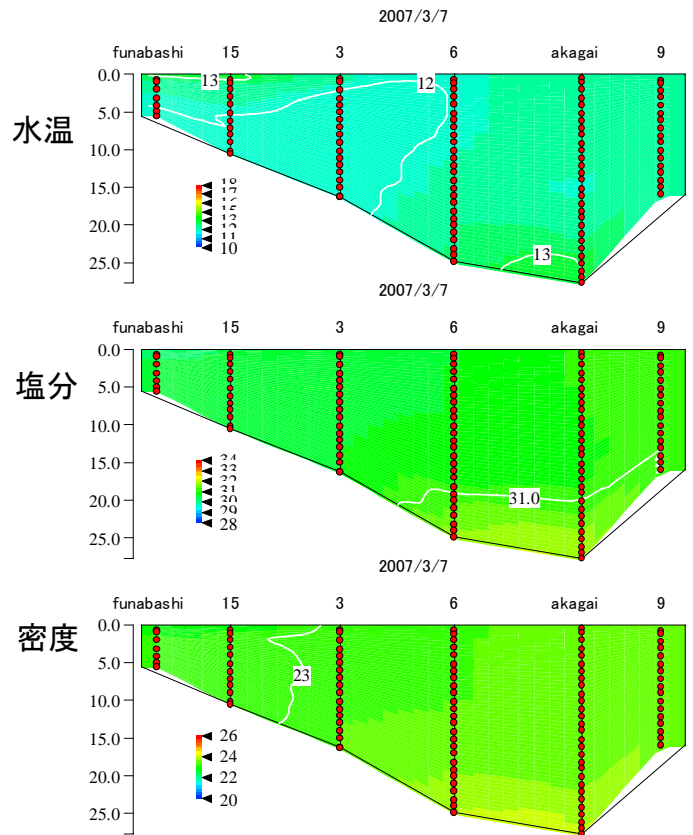


図2 内湾の鉛直分布

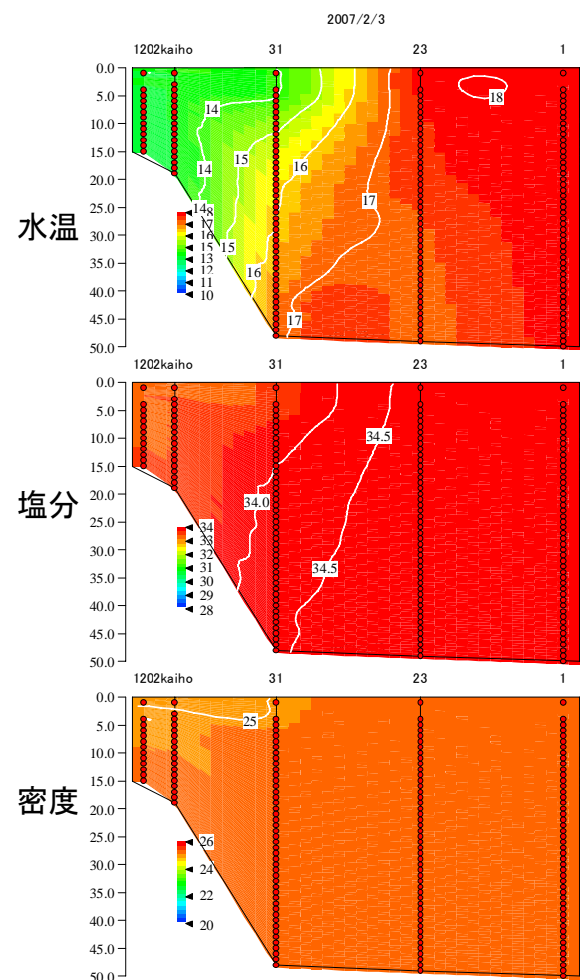


図3 内房の鉛直分布

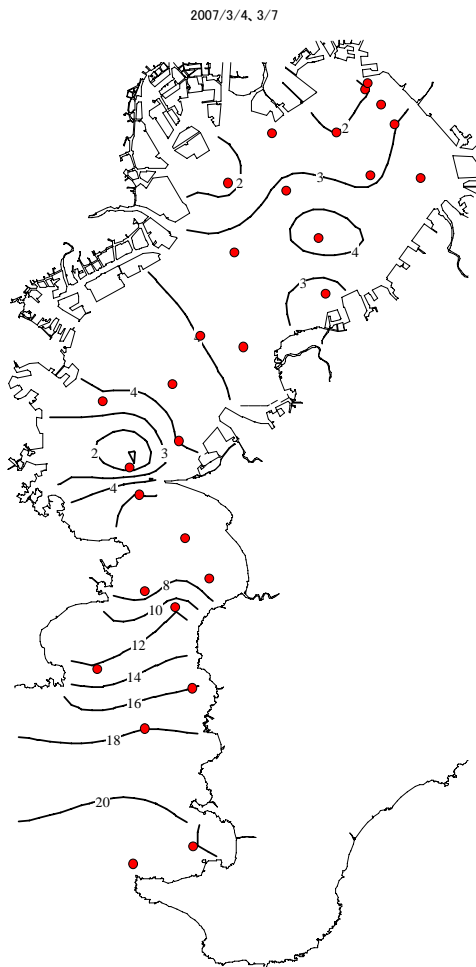
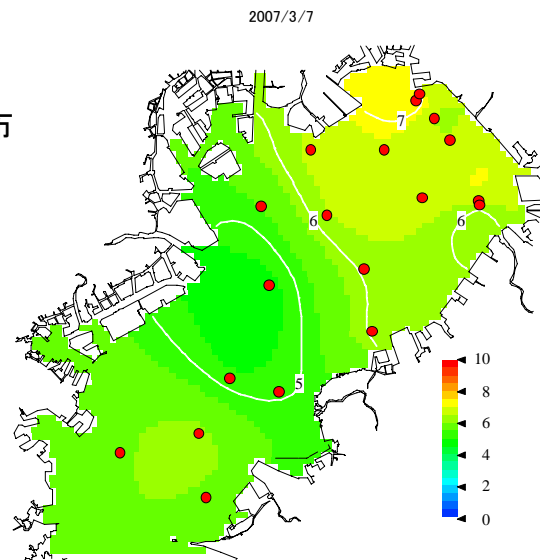


図4 透明度の分布 (単位: m)

底層の
DO分布



鉛直分布

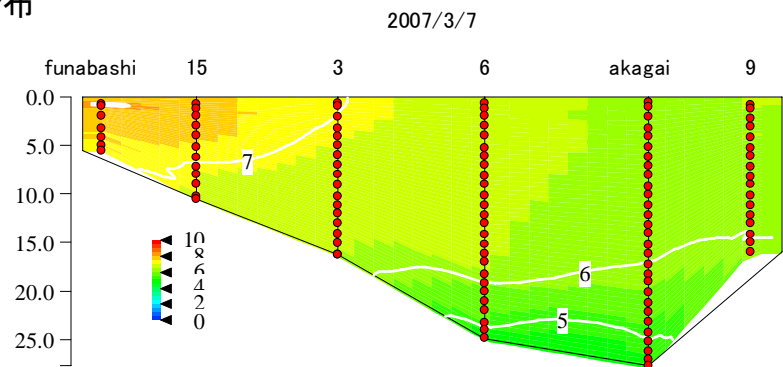
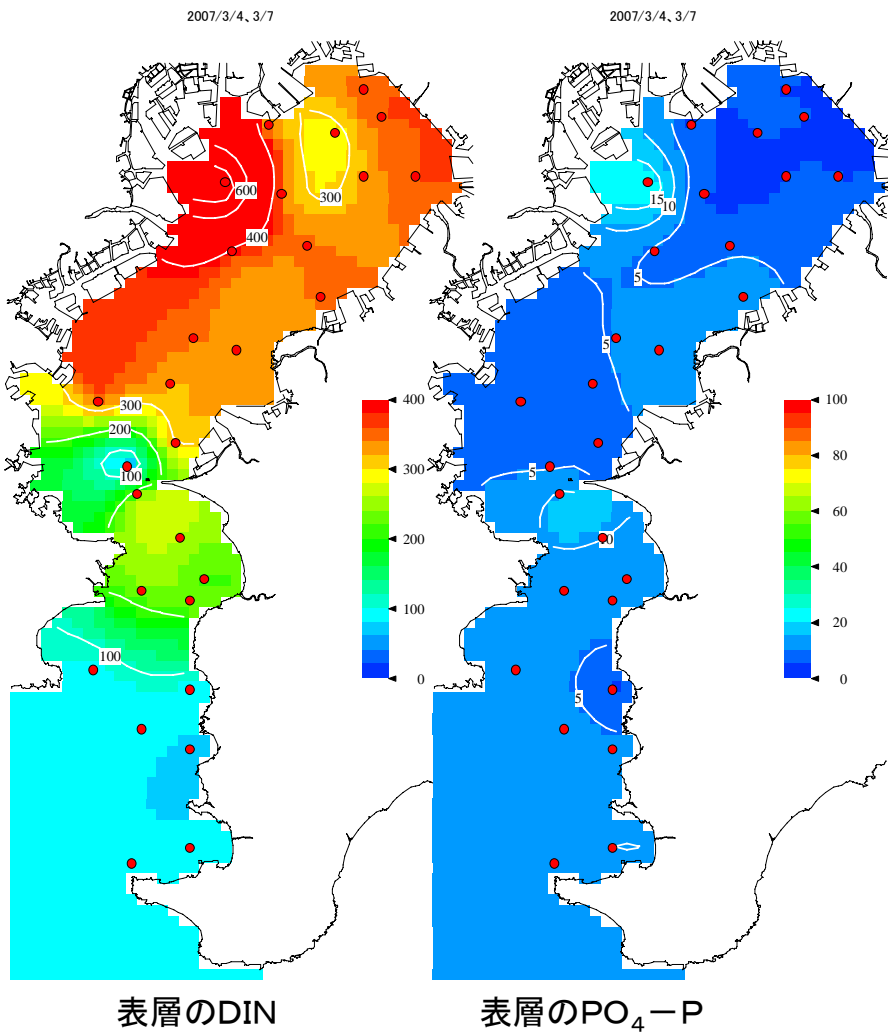
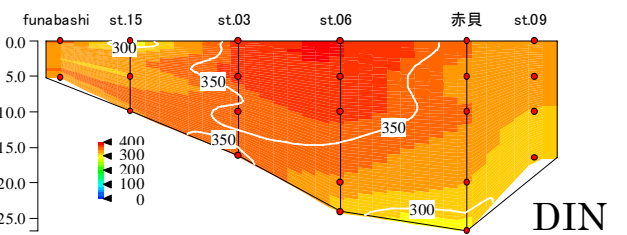


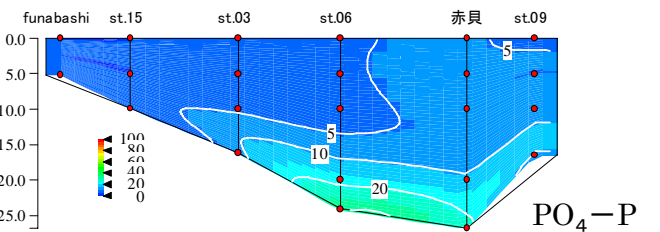
図5 内湾のDO分布 (単位: ml/L)



鉛直分布
(内湾)

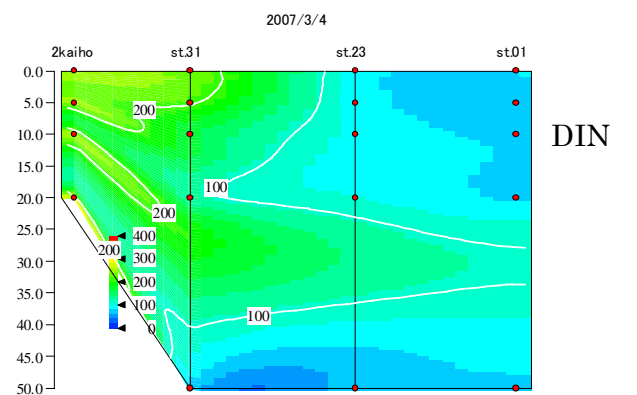


DIN

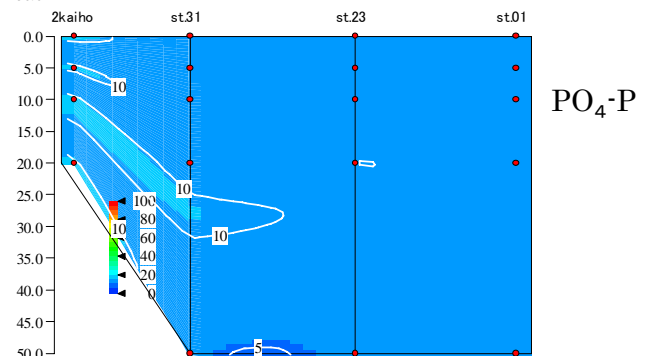


PO₄-P

鉛直分布
(内房)



DIN



PO₄-P

図6 栄養塩の分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)

水温・塩分(図1~3、表1)

表層の水温は、内湾は12~14℃、内房は13~18℃でした。平年と比べると、内湾・内房ともに1.5~3℃高めでした。表層の塩分は、内湾は29~33(平年よりやや低め)、内房は33~35(ほぼ平年並み)でした。

南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温11~14℃、塩分は30~32でした。内房は、水温は13~19℃、塩分は33~35でした。湾口から勝山沖、観音崎あたりまで、17℃以上・塩分34.5以上の高温高塩分水が分布していました。

赤潮の状況(図4、表1)

東京灯標から浦安、船橋にかけての海域が赤潮気味でした。

出現したプランクトンで比較的多く見られたのは、珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)でした。珪藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)とディティラム(*Ditylum* sp.)もやや多かったです。また、東京灯標から船橋にかけての赤潮気味の海域では、珪藻のニツシア(*Nitzschia* sp.)も多く見られました。

透明度は、内湾は1.9~4.5m、内房は1~21mでした。表層のクロロフィルaは、内湾は4~20μg/L、内房は6μg/L以下でした。

千葉県赤潮の目安(内湾海域)は

「海色:オリーブ色~褐色, 溶存酸素の飽和度:150%以上, 透明度:1.5m以下, pH:8.5以上, クロロフィルa量:50μg/L以上」としています。

栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾は200~800μg/L、内房は50~250μg/Lであり、内湾・内房ともに平年より少なめでした。表層のリン酸態リン(PO₄-P)は、内湾は0~20μg/L、内房は0~10μg/Lであり、内湾・内房ともに平年よりやや低めでした。

海面のPO₄-Pが多くて10μg/L程度なので、今後、のり漁場でのリン不足に対して注意が必要です。

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

貧酸素水塊の発生は見られませんでした。

なお、水産総合研究センターでは溶存酸素量2.5ml/L(飽和度50%)以下を貧酸素水としています。

黒潮の動き(図7)

3月7日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は石廊崎沖でかなり接岸していました。東京湾口海況図によると3月始めから、沖合いの暖水が流入しています。水温の上昇や急潮に注意が必要といえます。

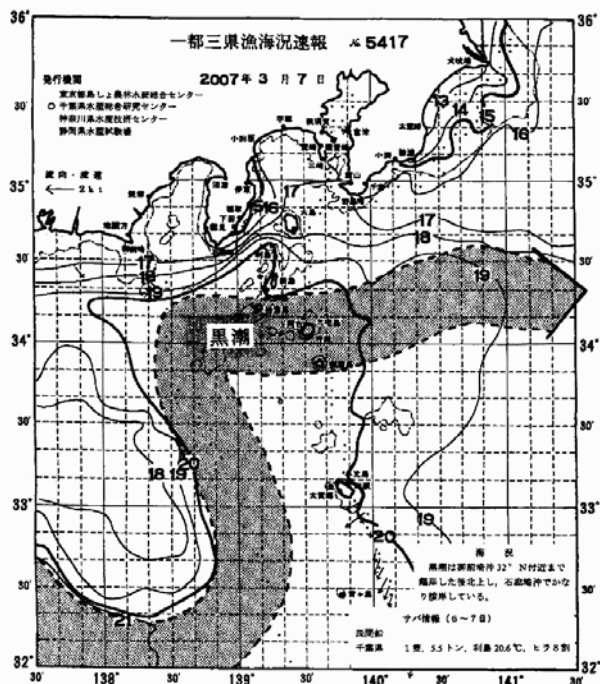


図7 黒潮の動き

表1 主な調査点の水質調査結果(表面)

調査年月日:平成19年3月4日(内房)、3月7日(内湾)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	クロロフィルa量 (μg/L)
船橋	1.9	12.5	30.04		7.1	350	0	8	20.1
st. 15	2.0	13.2	30.23		6.8	283	0	9	13.1
st. 3	3.2	12.1	30.50		6.3	362	1	17	9.1
st. 6	3.5	12.0	30.51		4.6	382	4	30	7.2
st. 9	4.5	12.2	30.94		5.9	316	3	20	6.0
盤洲Cブイ	2.4	13.0	31.10		6.0	342	9	29	7.6
st. 8 (盤洲Aブイ)	3.5	12.6	31.27		5.0	323	10	28	4.1
富津ベタ	4.0	12.8	31.23		5.7	296	4	24	6.3
第2海ほ下	6.0	13.7	33.16			243	11	18	3.6
st. 31	7.0	13.9	33.44			223	8	15	5.3
st. 23	18.0	17.6	34.69			71	8	13	0.5
st. 1	21.0	17.5	34.72			64	8	13	0.7
st. 10 (下洲沖)	7.0	14.4	33.62			250	10	21	
st. 12 (湊沖)	7.0	15.1	34.18			209	7	22	
st. 22 (保田沖)	16.0	17.8	34.72			77	0	15	
st. 24 (富浦沖)		17.8	34.71			58	6	14	
st. 26 (館山湾内)	20.0	17.7	34.71			64	10	13	

() : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去6年分)
※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

資料: 東京湾水質調査(3/7:内湾(わかふさ), 3/4:内房(ふさみ丸))
海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト)
一都三県漁海況速報, 東京湾口海況図